

神戸市立高等学校 特色ある学校園づくり推進事業実施要綱

【趣旨】

第1条 各学校が学習指導要領の趣旨を踏まえ、さまざまな工夫をこらして特色ある教育課程を編成し、いきいきとした学校生活の実現を図るとともに、生徒の個性の伸長と健全育成に努め、地域に開かれた学校づくりを推進する。

【事業内容】

第2条 本事業は次の1から4に掲げる取組みを行う。

1 新学習指導要領への対応

新学習指導要領において、次のような内容・観点における研究を引き続き支援する。

(1) 学習指導の改善・・・「何を学ぶか」・「どのように学ぶか」

各教科等において身に付けた知識及び技能を横断的に活用したり、思考力、判断力、表現力等や学びに向かう力、人間性等を發揮させたりして、学習の対象となる物事を捉え思考することにより、各教科等の特質に応じた物事を捉える視点や考え方（見方・考え方）が鍛えられていくことに留意し、生徒が各教科等の特質に応じた見方・考え方を働かせながら、知識を相互に関連付けてより深く理解したり、情報を精査して考えを形成したり、問題を見いだして解決策を考えたり、思いや考えを基に創造したりする学習過程の指導内容や指導方法の改善を図る研究。

※ 言語活動の推進について

言語活動については、引き続き充実を図ることが重要であるため、これに係る活動は本推進活動に含まれる。これまでの成果を受け継ぎつつ、主体的・対話的で深い学びを実現する視点で授業等を改善し、一層質を高めていく工夫が求められる。

(2) 学習評価の充実・・・「何ができるようになるか」・「どのような力が身に付いたか」

各教科等の目標の実現に向けた学習状況を把握する観点から、評価の方法や場面を工夫し、生徒のよい点や学習状況を積極的に評価するとともに、指導と評価の一体化を図ることで指導内容の改善や学習意欲の向上を図る取組。

※ 目標に準拠した観点別学習評価の推進について

これまでの目標に準拠した観点別学習評価の推進と根本的な取組趣旨が変わるものではない。これまでの成果を受け継ぎつつ学習評価の妥当性や信頼性を高めるための一層の取組が求められる。

(3) 理数教育の推進

知識・技能の定着のための繰り返し学習や、思考力や表現力等の育成のための観察・体験、レポートの作成や論述などを行うために必要な指導方法の研究。

国際的な通用性、内容の系統性、小・中・高等学校での学習の円滑な接続を踏まえた指導内容の充実を図る研究。

(4) 道徳教育の推進

基本的な生活習慣や最低限の規範意識、自分への信頼感や思いやりなどの道徳性を養い、法やルールの意義や遵守について理解し、主体的に判断し、適切に行動できる人間を育てるための指導方法に関する研究。

発達の段階に応じた指導内容の重点化、教材の充実、体験活動の充実、家庭や地域との役割分担などに関する研究。

道徳教育を充実・強化するという観点から、教科書に準じた適切な教材の開発。

(5) その他

新学習指導要領の実施に向けて、「生きる力」をはぐくむという学習指導要領の理念を実現するため、その具体的な手立てを確立する観点をもった新たな指導方法に関する研究、等。

各校においては新学習指導要領の実施に向け、実情に応じた研究テーマを設定した研究を実施する。

※「政治的教養を育む教育」の推進について

「政治的教養を育む教育」の実践において、年間指導計画の作成および教員の研修や生徒向けの教養を育む取組など、具体的な指導法等に関する研究と研究内容の発信を行う。

2 いきいき生徒会支援

「いきいき生徒会」等を通して集団活動におけるリーダーの育成を目指し、生徒間の連帯感を高めるために必要な知識・技能・態度の育成を図る。

3 学校マネジメントプラン

学校が自立的に改革を促進し、教育の質を向上するため、中長期的な学校教育目標を設定し、計画から実施、それについての評価、改善を行い、職員が組織的に日々の教育活動に取り組むことができるように「学校マネジメントプラン」を改善する。

4 高校生を対象としたプレ親学習

高校生の段階で幼い子供たちとのふれ合いを通して、自分も大切に育てられてきたことに気づき、子供を生み育てる家族・家庭教育の重要性を学ぶとともに、積極的に幼い子供とかかわろうとする態度をはぐくむために実施する。

【各校の運営】

第3条

各学校は、第2条に掲げる内容について、自校や地域の実情を踏まえ、取組を推進する。

2 各校は、各事業の実践について年度内に検証を行い、成果、課題等を学校評価報告書に記載する。

3 教育委員会は必要に応じ、本事業の実施状況について実態調査を行う。

【補則】

第4条 この要綱に定めるもののほか、必要な事項は教育委員会が別に定める。

【附則】

この要綱は、令和5年4月1日から施行する。